

令和7年3月18日（火）



第78回 卒業証書授与式 校長式辞

例年になく厳しい冬が去り、陽ざしの暖かさから春の訪れを感じさせる今日のよき日に、飯豊町長様はじめ、多くのご来賓の皆様、そして保護者・祖父母学級の皆様のご臨席を賜り、飯豊町立手ノ子小学校第78回卒業証書授与式を、このように晴れやかに挙行できますこと、誠にありがたく、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん。改めて卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取った6人の皆さんは実に清々しく、明るい未来を感じることのできる姿です。そして、今、手にしている卒業証書は、これまでの12年間、一日一日を大切に生きてきた証です。どうかこれからも、たった一つの命を大切に、自分の夢や目標に向かって生きてください。

さて、この一年間、私が皆さんに伝えてきた言葉があります。それは、「継続は力なり」そして「千里の道も一歩から」です。どちらも、小さな努力の積み重ねがやがて大きな夢を叶えるという意味を持っています。この日を迎えるにあたり、努力を積み重ねて夢を叶えた人を紹介します。

その人は、カーネルサンダースです。皆さんご存知の、「ケンタッキー・フライド・チキン」の生みの親です。カーネルは若いころ、たくさんの仕事を体験しました。その後、ガスライトの製造会社を立ち上げました。フライドチキンとは全然違う仕事です。しかし、この会社はライバルに押されて潰れ、全財産を失ってしまいました。普通ならここで落ち込んでしまい、立ち直れなくなるところですが、カーネルは気持ちを切り替え、今度はタイヤ会社のセールスマンとして全米1位の売り上げを達成したそうです。その後もけがをしてまた違う仕事につくなど、波乱万丈の人生を送ります。その後カーネルは料理で人を幸せにできるレストランを始め、ついにフライドチキンの調理法を完成させます。しかしそれも売り上げが落ちて手放すことになってしまいます。手元にはお金が残らず、無一文になってしまいます。この時カーネルはすでに65歳でした。しかしここでもカーネルはあきらめず、ケンタッキー・フライド・チキンを全米のレストランに売り込み続けます。そして1010回目にしてようやく最初の契約がとれたのだそうです。

カーネルの生き方は、私たちに「あきらめずにやりたいことを続ければ、いつか夢は叶う」ということを教えてくれています。皆さんのこれからの人生、いろいろなことがあると思います。でも、決してあきらめずにやりたいことを続けていれば、絶対最後には幸せになれると信じています。皆さんのこれからの頑張りをいつまでも応援し続けます。